

## 経済情報学科 カリキュラムマップ

### 学科のディプロマ・ポリシー

経済情報学部では、以下の諸能力を身につけた人の卒業を認定します。

- 【EDP1】専門的知識・技能と、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を高めることで、日本や世界の諸問題の解決に寄与することができる。
- 【EDP2】経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識を、人間・社会・自然に対する他分野の学問的知識と組み合わせることで、高層に情報化した現代経済社会の意味を探究することができる。
- 【EDP3】経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識および基礎的技能を修得し、それらを活用して現代の経済社会を多面的に理解し、家庭・企業・地域等で活躍することができる。
- 【EDP4】尾道市立大学での「知と美」の学びを中心とした出会いを基礎に、人生の課題の発見・解決のため、生涯学び続けることができる。

(経済コース) 経済コースでは、以下の諸能力を身につけた人の卒業を認定します。

- 【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく。
- 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、日本経済・世界経済の現状と動向を理論的に把握することができる。
- 【EDP3】経済コースの配属科目や専門演習の履修を通じて、経済・金融・統計に関する専門知識を修得し、実社会で、それらを基礎に現実の問題や課題を分析し、改善策や解決方法を提示することができる。

(経営コース) 経営コースでは、以下の諸能力を身につけた人の卒業を認定します。

- 【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく。
- 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、経済・経営に関する情報・データを適切な方法で収集・分析し、課題の発見や解決を取り組むことができる。
- 【EDP3】経営コースの配属科目や専門演習の履修を通じて、経営・会計に関する専門知識を修得し、実社会で適用可能な経営管理能力、経営改善策・経営戦略の立案能力、問題解決のための実践力を身につけていく。

(情報コース) 情報コースでは、以下の諸能力を身につけた人の卒業を認定します。

- 【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく。
- 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会で生きていくために必要な経済・経営・情報のリテラシーを身につけていく。
- 【EDP3】情報コースの配属科目や専門演習の履修を通じて、情報科学・情報工学に関する専門知識を修得し、高度な情報技術を駆使することによって、情報社会における課題を発見・分析し、その解決に取り組むことができる。

	経済コース	経営コース	情報コース
知識・技能	【EDP1】専門的知識・技能と、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を高めることで、日本や世界の諸問題の解決に寄与することができる 【EDP2】経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識を、人間・社会・自然に対する他分野の学問的知識と組み合わせることで、高層に情報化した現代経済社会の意味を探究することができる 【EDP3】経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識および基礎的技能を修得し、それらを活用して現代の経済社会を多面的に理解し、家庭・企業・地域等で活躍することができる 【EDP4】尾道市立大学での「知と美」の学びを中心とした出会いを基礎に、人生の課題の発見・解決のため、生涯学び続けることができる	【EDP1】専門的知識・技能と、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を高めることで、日本や世界の諸問題の解決に寄与することができる 【EDP2】経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識および基礎的技能を修得し、それらを活用して現代の経済社会を多面的に理解し、家庭・企業・地域等で活躍することができる 【EDP3】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、日本経済・世界経済の現状と動向を理論的に把握することができる 【EDP4】尾道市立大学での「知と美」の学びを中心とした出会いを基礎に、人生の課題の発見・解決のため、生涯学び続けることができる	【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、経済・経営に関する情報・データを適切な方法で収集・分析し、課題の発見や解決を取り組むことができる 【EDP3】情報コースの配属科目や専門演習の履修を通じて、経営・会計に関する専門知識を修得し、実社会で適用可能な経営管理能力、経営改善策・経営戦略の立案能力、問題解決のための実践力を身につけていく
思考力・判断力・表現力	【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、日本経済・世界経済の現状と動向を理論的に把握することができる 【EDP3】経済コースの配属科目や専門演習の履修を通じて、経済・金融・統計に関する専門知識を修得し、実社会で、それらを基礎に現実の問題や課題を分析し、改善策や解決方法を提示することができる	【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、経済・経営に関する情報・データを適切な方法で収集・分析し、課題の発見や解決を取り組むことができる 【EDP3】分野別の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、日本経済・世界経済の現状と動向を理論的に把握することができる	【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、経済・経営に関する情報・データを適切な方法で収集・分析し、課題の発見や解決を取り組むことができる 【EDP3】情報コースの配属科目や専門演習の履修を通じて、情報科学・情報工学に関する専門知識を修得し、高度な情報技術を駆使することによって、情報社会における課題を発見・分析し、その解決に取り組むことができる
主体性	【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、現代の経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、情報社会で生きるために必要な経済・経営・情報のリテラシーを身につけていく 【EDP3】情報コースの配属科目や専門演習の履修を通じて、情報科学・情報工学に関する専門知識を修得し、高度な情報技術を駆使することによって、情報社会における課題を発見・分析し、その解決に取り組むことができる	【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、現代の経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、情報社会で生きるために必要な経済・経営・情報のリテラシーを身につけている 【EDP3】分野別の体系的学修を通じて、経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、経済・経営に関する情報・データを適切な方法で収集・分析し、課題の発見や解決を取り組むことができる	【EDP1】全学・全学部共通カリキュラムの履修を通じて、基礎的な学修力を養い、人間・社会・自然に対する探究心と深い理解力を身につけていく 【EDP2】学科における経済・経営・情報の3分野の体系的学修を通じて、現代の経済社会・企業社会・情報社会の仕組みを理解し、情報社会で生きるために必要な経済・経営・情報のリテラシーを身につけている 【EDP3】情報コースの配属科目や専門演習の履修を通じて、情報科学・情報工学に関する専門知識を修得し、高度な情報技術を駆使することによって、情報社会における課題を発見・分析し、その解決に取り組むことができる

### 学科のカリキュラム・ポリシー

経済情報学部では、**就業教育等**で育まれた多様な価値・文化に対する深い理解を基礎にして、経済・経営・情報の3分野にまたがる基礎的知識・技能を養うとともに、経済・経営・情報の各コースごとに、より高度の知識・技能の修得をはかることができるように体的に専門教育課程を編成します。

(経済コース) 経済コースでは、以下の方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成しています。

- 【EDCP1】スタンダードな経済学の基礎となる専門基礎科目や共通専門科目を充実させ、それらの知識を体的に身につけることができるカリキュラムを編成します。.....【EDP1】【EDP2】
- 【EDCP2】経済・経営・情報の3分野の基本的な知識と復眼的な発想力を養成するために、他コースの専門科目を併せて履修することができるカリキュラムを編成します。.....【EDP1】【EDP2】
- 【EDCP3】主要専門科目を中心に、生活に則る問題意識・経済学的観察・分析する思考力を保持し、統計的理屈や技術を理解し、金融リテラシーを身につける学生を養成することができるカリキュラムを編成します。.....【EDP1】【EDP2】【EDP3】
- 【EDCP4】経済分野の知識の活用能、探究心、問題解決力、異世代・異文化とのコミュニケーション能力などの諸能力を養成するために、専門演習や特別授業といった実践的科目を配置し、少人数授業を実施します。.....【EDP1】【EDP2】【EDP3】

(経営コース) 経営コースでは、以下の方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成しています。

- 【EDCP1】学務的な視点を育成するため、経済や情報科学の専門基礎科目や共通専門科目を充実させ、それらの知識を体的に身につけることができるカリキュラムを編成します。.....【EDP1】【EDP2】
- 【EDCP2】専門的な方針論と議論を体的に学ぶことができるよう、経営や会計学の主要専門科目を中心としたカリキュラムを編成します。.....【EDP1】【EDP2】
- 【EDCP3】経済分野や経営分野のどちらも結果を評価し、設計計画や経営政策を立案する能力を養成するために、専門演習や特別授業といった実践的科目を配置し、少人数授業を実施します。.....【EDP1】【EDP2】【EDP3】

(情報コース) 情報コースでは、以下の方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成しています。

- 【EDCP1】人間の豊かさにおいて情報技術を効果的に活用する能力を身につけることができるカリキュラムを編成します。.....【EDP1】【EDP2】
- 【EDCP2】情報システムを設計・開発する能力を育成するため、オブジェクト指向プログラミング言語などを修得することができる主要専門科目を配置します。.....【EDP1】【EDP2】
- 【EDCP3】意思決定において有益な知識を身に着ける能力を育成するため、設計ソフトなどによりリテラシーを育成・経営・経営のミレニアムをうながす専門科目を配置します。.....【EDP1】【EDP2】【EDP3】
- 【EDCP4】教員から学ぶだけでなく、自律的に学ぶこと、学生間で共に学び合ふ機会を提供するため、専門演習や特別授業といった実践的科目を配置します。.....【EDP1】【EDP2】【EDP3】

ナンバリング	科目区分	科目名	学修目標	開講年次	学修成果						
					経/営/情DP1	経DP2	経DP3	営DP2	営DP3	情DP2	情DP3
E-EC-101L	専門基礎	経済学入門Ⅰ(ミクロ)	經濟主体の最適化行動と市場メカニズムを理解して、ミクロ経済学の論理と方法で経済問題を考察できるようになります。	1	◎						
E-EC-102L	専門基礎	経済学入門Ⅱ(マクロ)	消費行動・企業の設備投資行動、そして競争要因決定モデルを正確に理解すること。乗数理論を数式、グラフを通して経済学における問題を理解するための視覚的アプローチで理解できる。	1	◎						
E-MN-101L	専門基礎	経営学入門	企業経営に関する知識の習得だけでなく、企業がどのように社会に影響を与えるのかを学ぶことができる。	1	◎						
E-MN-102L	専門基礎	簿記入門	簿記の考え方を理解し、企業の財務状況及び開示業績を算定できるようになります。簿記入門では、具体的には、日常簿記検定3級レベルへの簿記における精算表までの知識と技術を習得することを目指します。	1	◎						
E-MN-201L	専門基礎	商業簿記	1. 日商簿記検定3級(ハイioskの株式会社)と日商簿記検定2級との簿記処理の知識と技術を習得すること。 2. 日商簿記検定2級相当の基本的な簿記処理ができる。 3. 基本的な精算表および連結財務報告書作成の問題を解くことができる。	2	◎						
E-MN-202L	専門基礎	工業簿記	工業簿記の意義や基礎知識について理解すること。 白商簿記検定3級レベルの簿記における計算技術を身につけること。	2	◎						
E-IN-102L	専門基礎	情報とコンピュータ	IT技術の活用が、企業の收益を大きさを左右する時代になっています。このため、選択するコースに関わらず、「情報」について理解しておく必要があります。また、企業においてIT技術を活用するためには、経営の知識も必要になります。基本情報技術者試験の範囲には、IT技術、マネジメント手法、経営などが含まれています。本講義では、講義内容で扱っている範囲について、基本情報技術者試験(以下IBババ)に合格できるレベルで理解することを目指します。	1	◎						
E-IN-101P	専門基礎	情報活用基礎Ⅰ	大学の学習であるべきとなるタチツビング・文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトのスキルを身につけ、操作ができるようになります。	1	◎						
E-IN-103P	専門基礎	情報活用基礎Ⅱ	各自の目的に応じて、ホームページ作成、データベースの活用、Perlスクリプトの利用ができるようになります。	1	◎						
E-CS-103L	専門基礎	ファインシナシャル・ブランディング	この授業では国家資格のファインシナシャル・ブランディング技能士3級に合格できるレベルの学力が身に付くようになります。ただあくまで資格の取得が目的ではなく、受講生各自が人生設計をするに必要な知識を身に付けています。	1	◎						

E-CS-104L	専門基礎	統計学 I	この授業では、記述統計と確率をテーマにします。記述統計とは、多数のデータをもとに調査対象の全体像を把握する知識の体系です。記述統計を学ぶことにより、調査対象の特徴を調べるためにデータの表現方法、値の計算方法などを理解でき、調査対象について様々な侧面から分析できるようになります。また、意味を理解した上で、表計算ソフトや統計ソフトを覚えるようになります。この授業では、記述統計の考え方や基本的な手法（併因、値の求め方）を理解し、平易な例について、実際に手を動かして計算ができるようになること、基本的な確率の計算ができるようになることを目標とします。	1	◎								
E-CS-202L	専門基礎	統計学 II	この授業では、推測統計をテーマにします。推測統計とは、標本から母集団の特徴を推測するための知識の体系です。推測統計を学ぶことにより、少数组データ（標本）から全数（母集団）について、何が主張できるのか、どの程度の信頼度をもって主張できるのか、などについて議論できるようになります。また、意味を理解した上で、表計算ソフト・統計ソフトを覚えるようになります。この授業では、推測統計の考え方や基本的な手法を理解し、実際に手を動かしてそれらを活用できるようになることを目標とします。	2	◎								
E-CS-203L	専門基礎	基礎数学 I	経済学の授業で用いられるレベルの微分積分の計算力を身に付ける。また経済学の問題でよく登場する2次函数の最大値・最小値問題の解法についての理解の定着を図る。	1	◎								
E-CS-204L	専門基礎	基礎数学 II	線形代数学の基本である行列の演算を自分で行えるように計算手法を身に付ける。また、その応用として行列の固有値、固有ベクトルの意義とその計算法についての理解の定着を図る。	2	◎								

E-EC-205L	共通専門	財政学 I	現行の制度を学ぶだけでなく、論理的な思考能力を養うことによって、望ましい財政のあり方について議論できるようになります。また、公務員を志望する学生は、本講義を通じて、公務員試験に必要な財政学の知識を身につける。	2	○	◎							
E-EC-206L	共通専門	財政学 II	現行の制度を学ぶだけでなく、論理的な思考能力を養うことによって、望ましい財政のあり方について議論できるようになります。また、公務員を志望する学生は、本講義を通じて、公務員試験に必要な財政学の知識を身につける。	2	○	○							
E-EC-207L	共通専門	金融論 I	1.カレントな動向を踏まえた現代経済の金融の側面を理解する。 2.金融が様々なトピックを含んだ学問であることを理解する。	2	○	◎			○				
E-EC-208L	共通専門	金融論 II	カレントな動向を踏まえた現代経済の金融の側面を理解する。	2	○	○			○				
E-EC-209L	共通専門	経済政策 I	環境政策を中心にその基礎知識を身に付けることを目的とする。	2	○	○							
E-EC-210L	共通専門	経済政策 II	主に環境政策の理論、実際についての知識を得る。	2	○	○							
E-MN-205L	共通専門	経営学総論	企業の様々な侧面（現象面）を理論的に考察することにより、社会に出て働く時、つまり就職した後にも必要な論理的思考力を養成することができる。就職活動を行う際には、企業の経営活動などの部分に注目して企業を選択しなければならないのについては理解できるようになります。	2	○				◎		○		
E-IN-201L	共通専門	経営情報論	Excelによりデータ分析を行う能力や、経営学に係る諸々の問題を解決する能力を身に付ける。ITパスポートや基本情報技術者試験に出題される問題のうち、本講義に関連する問題を極力解答できるようにする。	2	○				○		○		
E-IN-106L	共通専門	情報と倫理	情報倫理の領域は多岐に渡りており非常に複雑な構造になっている。その構造を含め、情報モラル教育の中心的役割を担うる情報倫理にならぬために必要な知識を理解し、適切な情報モラル教育、情報倫理教育を実施できる教師としての基礎的能力を身につける。	2	○						○		
E-IN-203P	共通専門	経済経営情報実習	1.平均と分散といった基本的な統計量を理解し、Excelを使って計算できる 2.時系列データをグラフを使って可視化することができます 3.二つ以上の変数の関係を層別分野を使って理解する 4.経済構造を柱例を用いて理解し、Excelを使った作図の操作ができる	2	○	○						○	
E-EC-301L	共通専門	多変量解析	・計算経済学を学ぶことで加えて、新たに複数の要素に着目した経済的関係の分析を行う知識を身に付ける。 ・実際に計算ソフト等を用いて、複数の要因についての分析を行えるようになる。	3	○	○						○	
E-CS-201L	共通専門	民法	この授業の目的は、民法、とりわけ、物権法や債権法に関する基礎的な理解を確立することにあります。民法は、私たちの日常生活に関わっていますが、その中でも、物権や債権が重要な位置づけを有しています。私たちの行動はほとんどは、物や人に対しての権利を行ったり、人に対しての義務を履行したりすることに抽象化できることです。それでは、私たちがどのようなときに物や人に對して権利を行使するようになり、どのような権利を有するようになるのでしょうか。また、私たちがどのようなときと人に対して義務を負うようになり、どのような義務を負うようになるでしょうか。この授業では、このよなことについて見知を広めています。	2	○	○			◎		○		
E-MN-208L	共通専門	企業法	企業は、日々さまざまな経営活動を行っており、無数の利害関係者がいます。このような企業を規律する法律として、会社法が最も有名です。会社法は、企業がどのように設立され、運営され、資金調達をしていき、規模を拡大していく様子を規定しているのです。労働法や労働契約法も、労働者と使用者の関係を調整する法律として、企業を規律しています。労働法を通して、労働者が遵守すべき労働基準にはどのようなものがあるか、どのような労働基準がどのような労働契約に反映させられなければならないべきか、労使関係の調整において労働組合がどのような機能を果たしていくかが明らかにされます。さらに、知的財産や営業秘密が企業にとってかけがえのないものとなるので、ほかの企業の知的財産や営業秘密を不正に使用してはならないことを規制する著作権法、特許法、商標法、意匠法、実用新案法や不競争競争防止法も企業にとって重要な法律になります。このように、この授業は、会社法、労働法の分野に属する法律や知的財産の分野に属する法律に焦点を当て、それぞれの法律が何を規定しているかに関する基礎的な理解を確立することを目標とします。	2	○	○			○		○		
E-MN-209L	共通専門	商法	日本経済新聞に掲載されるビジネス記事について、理解できようとすることが到達目標である。	2	○	○			◎		○		
E-MN-311L	共通専門	行政法	少なくとも、地方公務員上級の行政法の問題が解けるような、知識を修得させる。	2	○	○							
E-CS-205L	共通専門	外国書講読 I	①英語の読解力を向上させるとともに、経済・経営に関する専門用語等を理解すること。 ②経営戦略・経営組織に関する知識を蓄積すること。	2	○	○			○				
E-CS-206L	共通専門	外国書講読 II	(1)まずは英文の論理に慣れること。 (2)そして内容を確実に理解すること。量よりも質を重視する。	2	○	○							
E-CS-207L	共通専門	ビジネス英語	(1)Students will be able to talk about simple business and work-related topics in English clearly and smoothly. (2)Students will be able to listen and understand speeches in English made by other students. (3)Students will become accustomed to listening to and understanding what the teacher says in English.	2	○	○					○		

E-CS-101S	演習	基礎演習 I	テキストについてその内容をレジュメを作成して発表することで、プレゼンテーション能力を高める。 経済、経営、情報に関する現象を論理的に理解する。	1	◎	○			○		○		
E-CS-102S	演習	基礎演習 II	テキストの論述を通して、レジュメの作成や報告、ディスカッションなどをを行い、自らより深く考え、調べて、意見を述べられるようにする。	1	◎	○			○		○		
E-CS-301S	演習	経済コース・専門演習Ia	経済学を中心とした専門的科目から得られた知識に基づき、独創的な卒業研究を完成できるようになること。	3	○	◎							
E-CS-302S		経済コース・専門演習Ib											
E-CS-401T		経済コース・専門演習IIa											
E-CS-402T		経済コース・専門演習IIb	経済学を中心とした専門的科目から得られた知識に基づき、独創的な卒業研究を完成できるようになること。	4		○		◎					

E-CS-301S	演習	経営コース、専門演習Ia	経営および、それに関連する科目的専門的な知識の修得と、それに基づいたクオリティの高い卒業研究の指導を行います。	3	○			○					
E-CS-302S		経営コース、専門演習Ib	経営および、それに関連する科目の専門的な知識の修得と、それに基づいたクオリティの高い卒業研究の指導を行います。	4				○	○				
E-CS-401T		経営コース、専門演習IIa	経営および、それに関連する科目の専門的な知識の修得と、それに基づいたクオリティの高い卒業研究の指導を行います。	3	○								
E-CS-402T		経営コース、専門演習IIb	経営および、それに関連する科目の専門的な知識の修得と、それに基づいたクオリティの高い卒業研究の指導を行います。	4									
E-CS-301S	演習	情報コース、専門演習Ia	情報科学・情報工学を中心とした専門的科目から得られた知識に基づき、卒業研究テーマを確定し、研究計画を立案できるようになること、それを実現するマネジメントを行えるようになること。	3	○							○	
E-CS-302S		情報コース、専門演習Ib	情報科学・情報工学を中心とした専門的科目から得られた知識に基づき、卒業研究テーマを確定し、研究計画を立案できるようになること、それを実現するマネジメントを行えるようになること。	4								○	○
E-CS-401T		情報コース、専門演習IIa	情報科学・情報工学を中心とした専門的科目から得られた知識に基づき、卒業研究テーマを確定し、研究計画を立案できるようになること、それを実現するマネジメントを行えるようになること。	3	○								
E-CS-402T		情報コース、専門演習IIb	情報科学・情報工学を中心とした専門的科目から得られた知識に基づき、卒業研究テーマを確定し、研究計画を立案できるようになること、それを実現するマネジメントを行えるようになること。	4									
E-CS-211S	演習	特別演習 I	①観光情報学の基礎的理解すること ②実践的なWebアリケーション開発技術を習得すること	2								○	○
E-CS-212S	演習	特別演習 II	この授業は、M&Aにおける利害関係者の利益保護、M&Aの市場への影響が、それぞれM&Aの手続をどのように形作って進むかについて基礎的理解を確立すること目標とします。	2				○	○				
E-CS-213S	演習	特別演習III	PCを用いて経済波及効果の実証分析ができるようになること。	2			○	○					
E-CS-214S	演習	特別演習IV	経済古典の精詮による検証段階まで含め、テキストマイニングの手法を使いこなせるようになること。	2			○	○				○	○
E-CS-215Z	演習	特別演習V	海外において英語で経営系専門科目を学ぶことで、専門学科に関する国際的・地域的見地の幅を広げること。	2	○		○	○				○	
E-CS-216Z	演習	特別演習VI	海外において英語で経営系専門科目を学ぶことで、専門学科に関する国際的・地域的見地の幅を広げること。	2	○		○	○				○	

E-EC-201L	主要専門(経)	ミクロ経済学 I	1.経済学入門1（ミクロ経済学）で学んだ内容を、数学的技術を用いることでより厳密に学びなおす。 2.ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、問題を解く能力を身につけることを目標とする。	2		○	○	○	○	○	○	○	
E-EC-202L	主要専門(経)	ミクロ経済学 II	1.ミクロ経済学で学んだ内容を、数学的技術を用いることでより厳密に学びなおす。 2.ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、問題を解く能力を身につけることを目標とする。	2		○	○						
E-EC-203L	主要専門(経)	マクロ経済学 I	1.経済学入門2（マクロ経済学）で学んだ内容を、より詳細に学びなおす。 2.現実の世界で生じている経済問題をマクロ経済学の知識を用いて理論的に考察できるようになる。	2		○	○	○	○	○	○	○	
E-EC-204L	主要専門(経)	マクロ経済学 II	1.マクロ経済学で学んだ内容に加えて、長期経済などのより総合的なトピックスを学ぶ。 2.経済全体の視点に立ち、実際の経済問題を理論的に考える能力を身につける。	2		○	○						
E-EC-215L	主要専門(経)	環境経済学	身近な問題である環境問題を通じて、また場所によっては国際的な視点も取り入れつつ、様々な考え方を掴むことを目標とする。また、自分の経済活動が環境問題や密接につながっていることを理解し、その内容を説明することができるようになることを指す。	2		○	○						
E-EC-302L	主要専門(経)	計量経済学	-「最小2乗法」「決定係数」「t検定」等の計量経済学の基本的な内容を理解し、内容を説明できるようになる。 -実際の経済データから回帰分析等を行う手法を身に付ける。	3		○	○						
E-EC-211L	主要専門(経)	経済学史	(1)現代経済学の基礎になっている考え方を身につけた経済学者たちと、その歴史的・社会的背景に関する知識を習得する。 (2)経済学説闘争の継承と断続、分化と統合のありかたについて理解し、現代経済学の成立過程を論理整然的に把握する。	2		○	○						
E-EC-212L	主要専門(経)	経済史	経済に対する歴史的な考察を行うことによって、国際社会における様々な問題や身近な経済活動について、自分なりの意見を持つようになることが本講義の目標である。	2		○	○						
E-EC-213L	主要専門(経)	日本経済史	本講義では、主に17世紀から19世紀後期にかけての江戸幕府による経済政策や、飢饉・災害・外圧などの危機への対応などを紹介することによって、現代の経済的諸問題についての歴史的考察を行い、それら諸問題に対して自分なりの意見を持つことができるようになることが目標である。	2		○	○						
E-EC-303L	主要専門(経)	地域経済史	大学生活を送る身近な地域の経済史を学ぶことによって、自らの出身地や他の地域への关心を深めるとともに、今後の地域経済の発展の方針について、自分なりの意見を持つようになることが講義の目標である。	3		○	○						
E-EC-312L	主要専門(経)	産業組織論	市場経済の仕組みを理解して、企業の財・サービスの価値設定や販売方法(競争戦略)について学び、健全な競争環境とは何かを議論できること。また、政府の関与のあり方についても考察できるようになること。	3		○	○						
E-EC-214L	主要専門(経)	日本経済論	(1)人物像と時代背景、思想と政策の関わりを、立体的に把握する。 (2)過去と現在の日本経済を比較考察して将来の見通しを立てたため、中期的視野を獲得する。	2		○	○	○	○	○	○		
E-EC-305L	主要専門(経)	社会政策	1.ライフルコースのかつてのよりなまことに社会政策の関わりをくわつかず、基礎的な理解に到達すること 2.さまざまな政策課題に対して自分なりの議論ができるようになること	3		○	○						
E-EC-306L	主要専門(経)	社会保障	1.国と地域、時代によつて人々が支えと支援組み、支え合う方針に連携あることを把握すること 2.授業を通して社会で感じまるさまざまな現象について自分なりに問題意識を深めていくこと	3		○	○						
E-EC-307L	主要専門(経)	国際経済学	・国際経済学の基本的な構成要素、流れなどをよみよぶこと。 ・理論を実際の国際経済の状況に応用して、グローバルな財や人材の移動について考えることができるようになる	3		○	○						
E-EC-308L	主要専門(経)	国際金融論	1.国際収支表や為替レート、国際資本移動のメカニズムが理解できる。 2.通貨危機、金融危機、実債債務問題等グローバルな問題が説明できる。	3		○	○						
E-EC-309L	主要専門(経)	公共経済学	政府の経済活動についての理解を深める。課税の問題と課税効果、所得効果について、図を使って説明できるようになる。また、外性や公財が存在する場合の問題とその解決方法について、説明できるようになる。	3		○	○						
E-EC-310L	主要専門(経)	地方財政論	地方政府に対する制度と制度による影響を経済理論を用いて理解することで、日本の地方財政が直面している課題や対策について学生自身が理解できるようになる。	3		○	○						
E-EC-311L	主要専門(経)	アジア経済事情	単線的ではないアジア諸国の人間関係や、国際化の中で我が国のとの関わりを理解することで、アジア経済や発展に関する概要を理解することを目標とする。また、アジア経済の経済記事を理解することも目標とする。	3		○	○						

E-MN-206L	主要専門(営)	経営組織論	(1)組織のさまざまな取り組みや組織の中の人々の行動について理解するための基礎知識を習得すること。 (2)講義で学んだ知識をもとづき、自らが直面している課題や新聞、ニュースなどで報道されている内容について、参考・考察できるようになること。	2		○	○	○	○	○	○	○	
E-MN-301L	主要専門(営)	マーケティング論	マーケティングに関する一般教養や専門試験レベルの内容を修得すると同時に、実践的なマーケティング活動、営業活動などに貢献する能力を修得します。	3					○	○	○		
E-MN-207L	主要専門(営)	経営戦略論	戦略経営に関する一般教養や専門試験レベルの内容を修得すると同時に、実践的な戦略策定活動に貢献する能力を修得します。	2		○	○	○	○	○	○	○	
E-MN-302L	主要専門(営)	経営管理論	(1)企業運営を支える経営管理の考え方を学ぶこと。 (2)講義で学んだ考え方にもとづき、実際の企業で生じている出来事について分析・考察できるようになること。	3					○	○	○	○	
E-MN-313L	主要専門(営)	企業論	1.企業誕生の経緯、企業の役割や機能、構造について基礎的な知識を習得する。 2.上の知識を踏まえ、複眼的視点を持って企業を取り巻く様々な課題について考え、実践的に解決する能力を習得する。	3					○	○	○		
E-MN-303L	主要専門(営)	国際経営論	(1)国際経営に関する理論や概念を説明できるようになる。 (2)日本企業の国際展開や国際事業活動の特徴について説明できるようになる。 (3)現代企業における国際事業活動の問題点や課題について考察できるようになる。	3					○	○	○		

E-MN-213L	主要専門(營)	経営史	経営者(創業者)がどのような意図と社会的使命を持って起業してきたかという理念・思想等を学ぶことにより、将来自分が起業しようとする企業や組織、あるいは既存した企業や組織の理念を理解することで、そこで働くことの意義を見出し、より充実した社会人としての能力をいかせるようになる。	2			○	○		
E-MN-214L	主要専門(營)	租税論Ⅰ	所得税法の問題を中心に、租税法の基本的な考え方を理解できるようになります。ただし、現行税制の理解だけではなく、現在の問題点も把握し、それに応じて自分の考えを持つてようになることをを目指します。	2		○	○	○	○	
E-MN-314L	主要専門(營)	租税論Ⅱ	間接税である消費税は、租税論Ⅰ(所得税法)および税務会計法(租税法)のような直接税と理論や仕組みが異なることを学びます。また、間接税の仕組みを踏まえ、現在・未來の財政の在り方や企業経営を検討するための基礎知識の修得を目指します。	3		○	○	○	○	
E-MN-103L	主要専門(營)	会計学概論	当該講義は、会計学の基礎知識を身に付けることを目的としている。なほ、当該國語は教職免許(商業)においても必要な知識となります。そのため、到達目標としては以下の2点を掲げます。 1.会計学の基礎的な知識(会計用語や会計制度等)を理解し、説明できる。 2.財務諸表を読むことができる。	1				○	○	
E-MN-304L	主要専門(營)	経営分析論	受講者の間のある会社に就職したい会社の財務諸表からその会社の状況を推測できる基礎的能力を身に付け、企業活動の分析能力の習得を目指す。	3				○	○	
E-MN-305L	主要専門(營)	財務管理論	多様化かつ複雑化している金融・資本市場を理解するとともに、企業における財務的意思決定に必要な不可欠な知識と操作能力の修得を目指す。	3				○	○	
E-MN-306L	主要専門(營)	税務会計論	租税法の問題(課税対象を含む)を中心に、租税法の基本的な考え方を理解できるようになります。ただし、現行税制の理解だけではなく、現在の問題点も把握し、それに応じて自分の考えを持つてようになることをを目指します。	3				○	○	
E-MN-307L	主要専門(營)	管理会計論	管理会計の考え方・意義・計算法を理解すること。 管理会計がどのように経営戦略に役立つかを説明できるようになること。	3				○	○	
E-MN-203L	主要専門(營)	財務会計論	会計の意義、資産の評価基準や収益の認識基準などの財務法表作成のルールや考え方を理解し、説明できることを目指す。	2				○	○	
E-MN-308L	主要専門(營)	監査論	財務法表監査がいになる基本的知識の中で、どのような方法論をもいて実施されているかを理解する。併せて、財務法表監査が現代の経済社会で果たしている役割について理解する。	3				○	○	
E-MN-204L	主要専門(營)	原価計算論	様々な原価計算の手続きや計算方法に関する知識を習得すること。 原価計算の問題を機械的に解くだけではなく、背景にあるロジックを説明できるようになること。	2				○	○	
E-MN-211L	主要専門(營)	製品開発論	①製品開発に関する理論と概念を説明できるようになる。 ②製品開発機能の国際化や企業の共同開発の特徴や問題点について説明できるようになる。 ③価値が多様化する現代社会における製品開発の課題について考察できるようになる。	2				○	○	
E-MN-214L	主要専門(營)	国際法	国際化が進む現代社会と、国家間関係と規律する国際法の特徴を学びます。条約法や国家責任といった国際法の基本構造に加えて、地球環境問題への取組みや安全保障など、企業経営に関連の深い分野の国際法に関する基礎的な知識の修得を目指します。	2				○	○	
E-MN-312L	主要専門(營)	消費者行動論	消費者行動論のプロセスについて説明できる、消費者心理の基本的な枠組みを説明できる。自分自身や周囲の人々の消費者行動を理解する力や感覚を使って説明できる。	3				○	○	